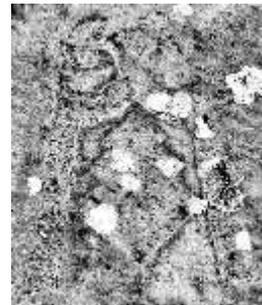


| | | | |
|-------|------------|--------|------------|
| シート番号 | 3205-02 | 名 称 | 大草平内供養塔 |
| 分 類 | 供養塔 | 場 所 | 人見 慈安堂共同墓地 |
| 小 分 類 | その他供養塔 | メッシュ番号 | 1414 |
| 年 号 | 年紀不明 | | |
| 形 状 | 自然石型 | | |
| サ イ ズ | 高：148 c m、 | | |
| 画像番号 | 3205-02-01 | | |

大草平内源義徳

大草氏家紋：
琴柱の三階菱

- ・ 琴柱 (コトジ)：箏や和琴の胴に立てて音程を調節する道具。
- ・ 三階菱 (サンガイビシ)：小笠原氏家紋。

コメント；大草平内は、宝徳3年（1451）頃小笠原持長の子、長宗が大草七郎を号したことに始まり、長宗から数えて10代目が大草平内義則である。

小笠原彦太夫長住の家臣で、人見村に住み中富の地頭となった。中富の人々が洪水により難儀している状況を見かね、小糸川を直線にする河川改修に尽力した。元禄12年（1699）、工事の完成を見ることなく60歳でこの世を去った。（なかとみ郷土誌）供養塔は「義徳」と刻まれています。文献などでは「義則」と表記されていることもある。

石塔の形式から見て後の再建の可能性が高い。